

令和 5 年度 岩手県明るい選挙啓発 授業アンケート調査の結果について

1 岩手県明るい選挙啓発授業について

(1) 啓発授業の目的

児童、生徒、学生等を対象として、社会参加と政治や選挙を学び、選挙への興味・関心を高めることを目的として、選挙制度等の授業を実施するものです。

(2) 啓発授業の実績

令和 5 年度は、全体で 52 校、延べ 5,862 人の児童、生徒、学生が啓発授業を受講しました。前年度から 3 校増え、受講者も 600 人程度増加しました。

(単位:校、人)

学校の別	令和 4 年度	令和 5 年度	差引増減
小中学校	6 校 ・ 525 人	7 校 ・ 308 人	+ 1 校 ・ ▲217 人
高等学校	33 校 ・ 3,928 人	36 校 ・ 4,620 人	+ 3 校 ・ +692 人
支援学校	4 校 ・ 83 人	4 校 ・ 103 人	± 0 校 ・ + 20 人
大学等	6 校 ・ 740 人	5 校 ・ 831 人	▲ 1 校 ・ + 91 人
合計	49 校 ・ 5,276 人	52 校 ・ 5,862 人	+ 3 校 ・ +586 人

2 アンケート調査の概要について

(1) アンケート調査名称

令和 5 年度 岩手県明るい選挙啓発授業アンケート調査

(2) アンケート調査の目的

明るい選挙啓発授業の前後において、生徒等の興味・関心がどのように変化したかを検証するためアンケートを実施しました。

また、このアンケート結果については、今後明るい選挙啓発授業を県内で推進するため、未実施市町村をはじめ、関係機関に対する周知用チラシなどに活用し、啓発授業の普及・拡大を図ることとしています。

(3) アンケート調査の対象者

啓発授業を実施した学校が多かった高等学校の生徒を対象に、主に県が実施した **高等学校 19 校 延べ 1,721 人** から得たアンケートの回答を集計したものです。

なお、令和 5 年度に啓発授業を受講した高等学校の生徒数 (4,620 人) のうち 37.3% から回答が得られました。

(4) アンケート調査方法、調査期間等

令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に、啓発授業を受講した生徒を対象に、授業前と授業後にアンケート票を配布し、高等学校が取りまとめて、後日、事務局（県選管・市選管）へ送付する方法等により回収し集計しました。（全19校中、授業後のみアンケート実施した学校は7校）

3 調査の結果について（総括）

- ・啓発授業を実施した結果、政治等への関心や選挙への意義の理解度、投票意欲について、大きく高まることが分かりました。
- ・高校生が政治や社会問題に関心を持つためには、「選挙管理委員会の職員などから選挙の話を聞いたり、模擬投票を体験したりする」との回答が最も多く、啓発授業が効果的な取組であることが分かりました。
- ・授業に関する個別の意見や感想においても、選挙の意識や投票が難しくないことがわかるなど、啓発授業を行う目的について、生徒に対して伝わっていることが分かりました。

<参考> アンケート集計対象校内訳

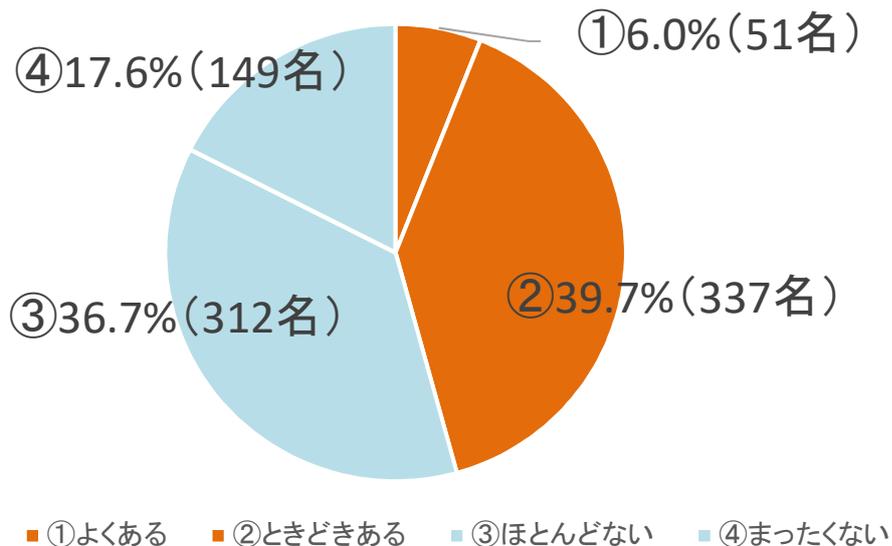
1	県立千厩高等学校（県主催）	3年生（153名）
2	県立紫波総合高等学校（県主催）	3年生（61名）
3	県立花泉高等学校（県主催）	3年生（30名）
4	県立山田高等学校（県主催）	2・3年生（45名）
5	県立大東高等学校（一関市主催）	3年生（59名）※授業後のみ
6	県立遠野高等学校（遠野市主催）	3年生（96名）
7	県立水沢農業高等学校（奥州市主催）	3年生（39名）※授業後のみ
8	県立不来方高等学校（矢巾町主催）	2年生（252名）
9	県立一関第一高等学校（県主催）	2年生（196名）
10	県立杜陵高等学校奥州校（奥州市主催）	全学年（42名）※授業後のみ
11	県立久慈高等学校長内校（久慈市主催）	全学年（50名）
12	県立岩泉高等学校（県主催）	全学年（122名）
13	県立水沢農業高等学校（奥州市主催）	2年生（41名）※授業後のみ
14	県立花泉高等学校（一関市主催）	2年生（31名）※授業後のみ
15	県立伊保内高等学校（県主催）	1・2年生（54名）
16	県立沼宮内高等学校（県主催）	2年生（25名）
17	花巻東高等学校（花巻市主催）	2年生（217名）※授業後のみ
18	県立遠野緑峰高等学校（遠野市主催）	2年生（40名）
19	県立花巻南高等学校（花巻市主催）	2年生（168名）※授業後のみ

(1) 政治等への関心について

授業を実施した結果、家族や友人と政治や社会問題について話してみようと思う生徒が大きく増加したことから、啓発授業が、政治や社会問題に対する関心を高めることに効果的であることが分かりました。

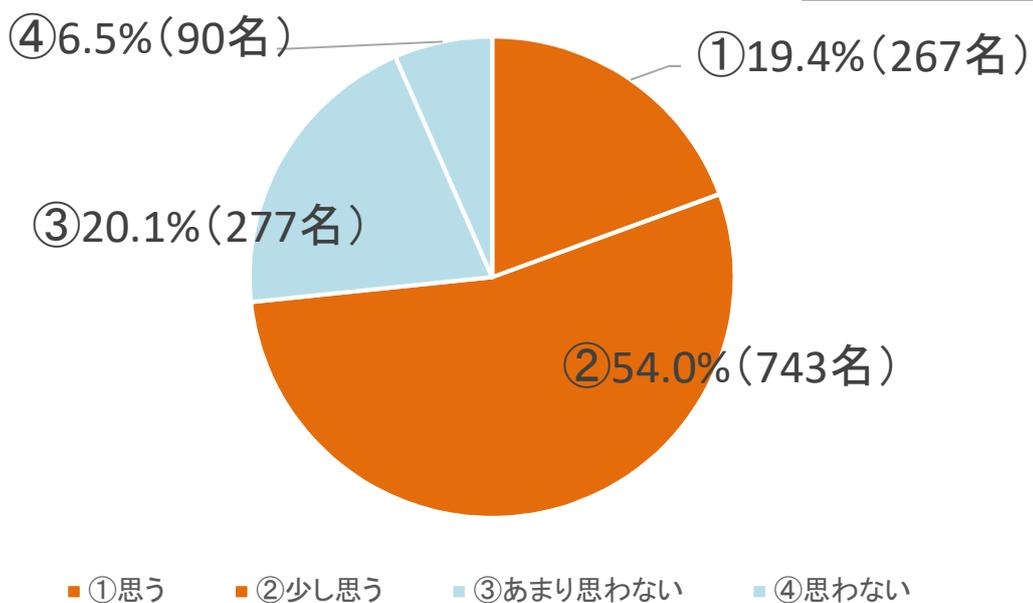
(1)－1 【授業前】家族や知人(友人)と政治や社会問題について話すことがありますか？

回答数 849



(1)－2 【授業後】家族や知人(友人)と政治や社会問題について話をしてみようと思いませんか？

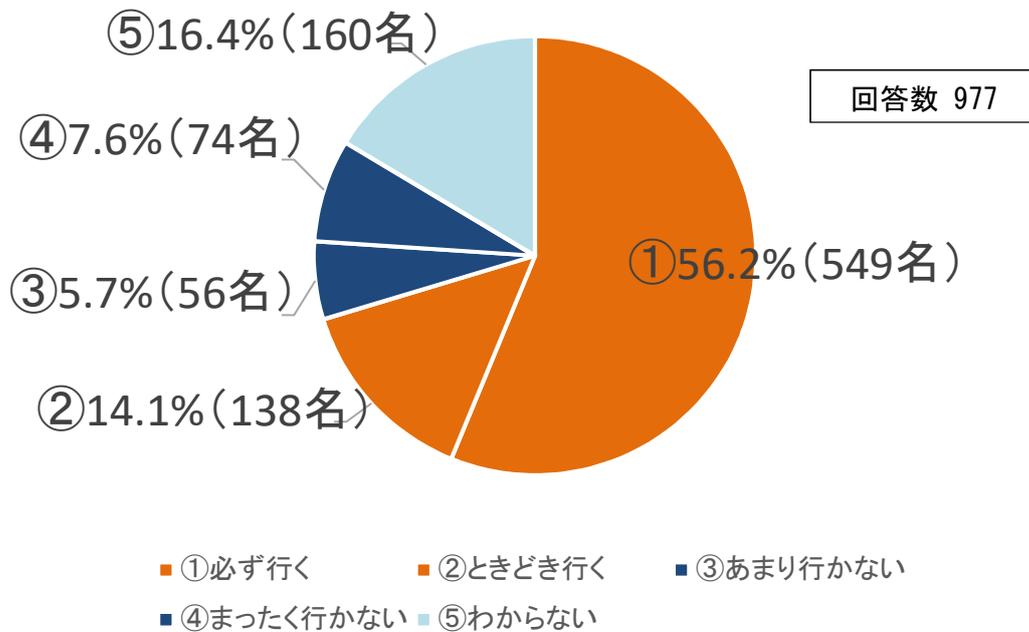
回答数 1,377



(2) 家族の投票行動について

約半数の家庭で必ず投票に行き、ときどき行くという家庭も7割を超える結果となりました。しかし、2割弱の生徒が、家族が選挙に行っているかどうかかわからないと回答していることから、家族の投票行動についても関心を高めていくような取組が必要です。

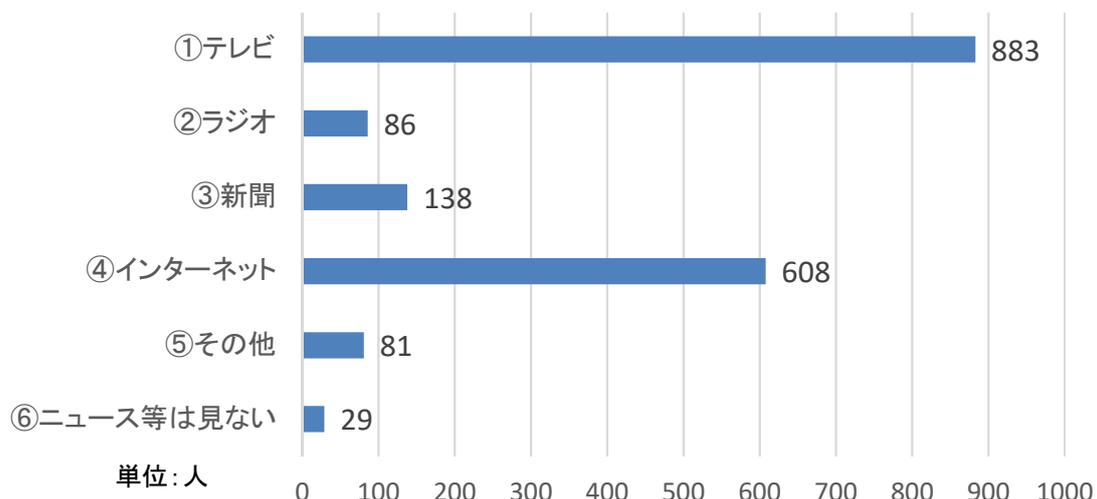
(2) 【授業前】あなたの家族は選挙の投票に行きますか？



(3) 高校生のニュースソースについて

政治や社会問題のニュースを見たり聞いたりするのはテレビが一番多く（883人）、次いでインターネットから情報を得る人が多い（608人）一方で、ラジオや新聞から、情報を得ている生徒は少ないことが分かりました。

(3) 【授業前】どのメディアで政治や社会問題などのニュースを見たり聞いたりしますか？（複数可）

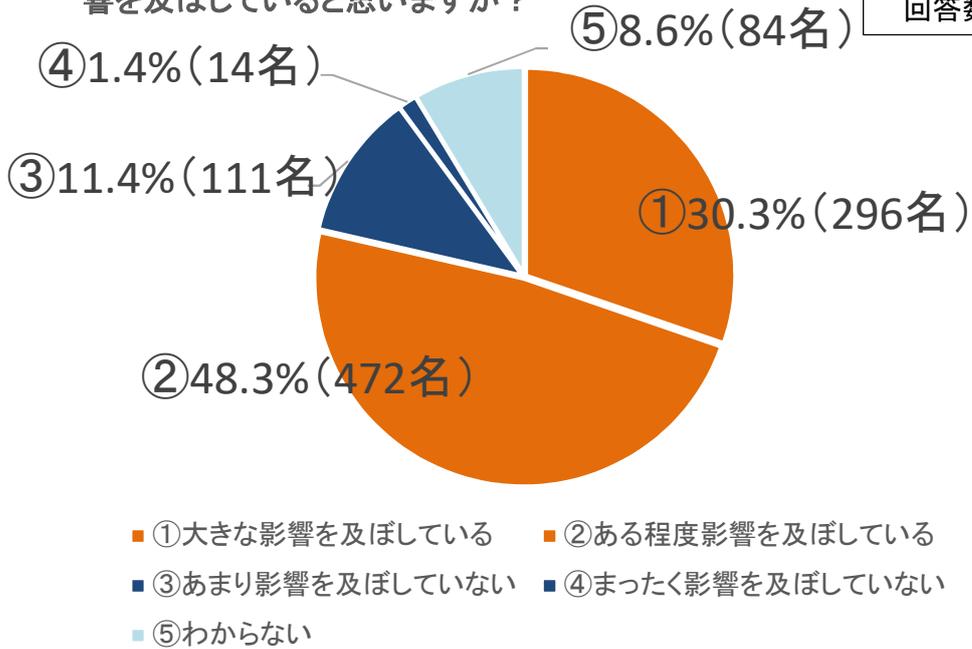


(4) 選挙の意義について

授業を実施した結果、選挙の際に投票することは、政治に影響を及ぼしていると感じている生徒が増加し、全体で約9割の生徒に、選挙での投票の重要性や意義について理解してもらうことができました。

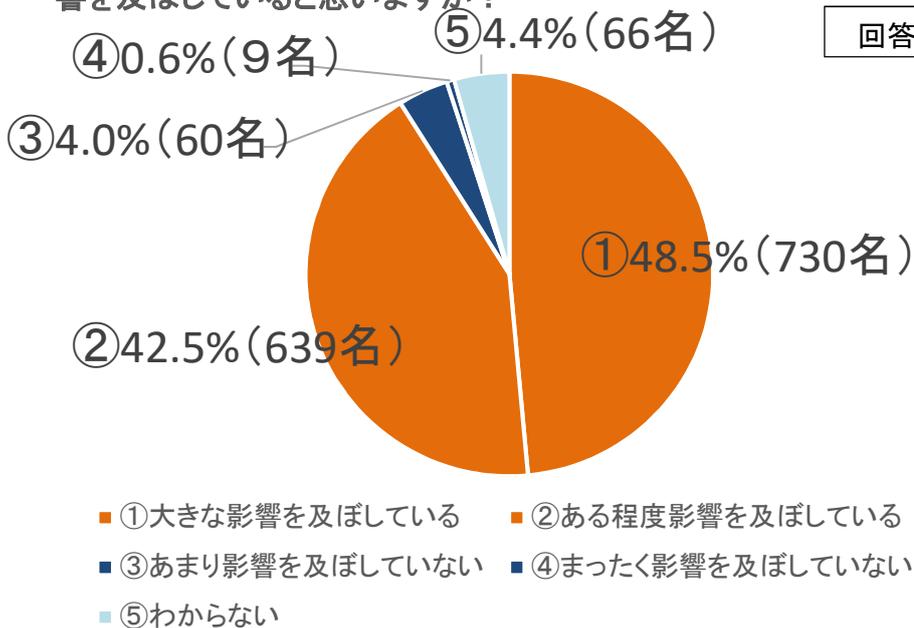
(4)－1 【授業前】選挙の際に投票することは、政治にどの程度影響を及ぼしていると思いますか？

回答数 977



(4)－2 【授業後】選挙の際に投票することは、政治にどの程度影響を及ぼしていると思いますか？

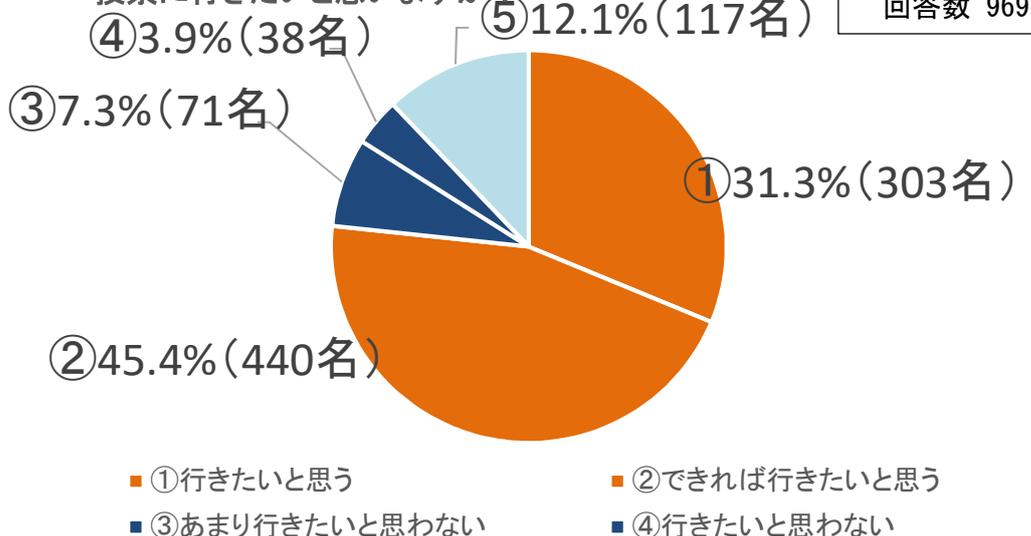
回答数 1,504



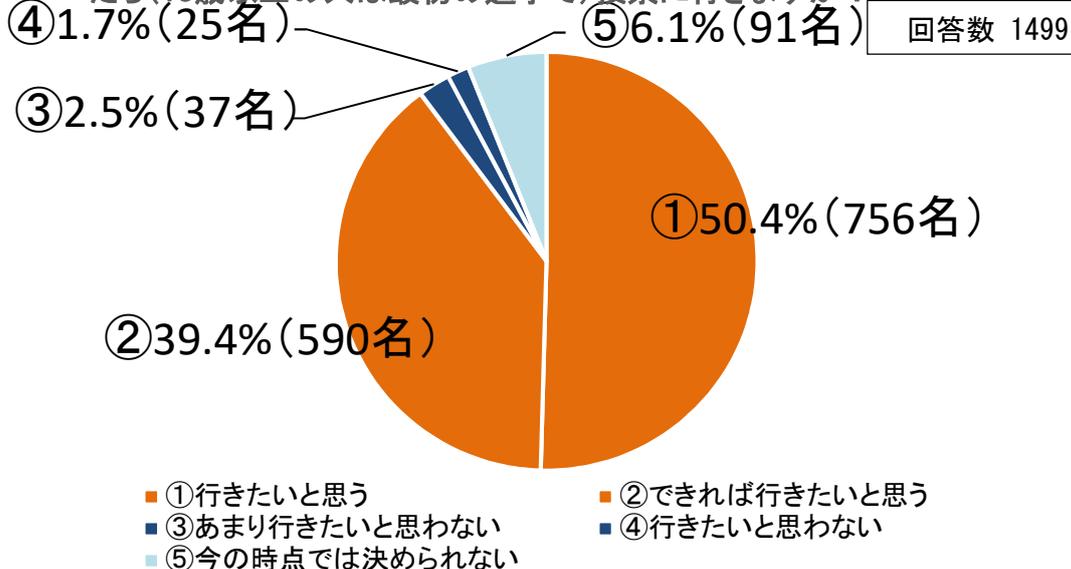
(5) 投票意欲について

授業を実施した結果、18歳になったら投票に行きたいと感じている生徒が増加し、全体で約9割の生徒が投票に行きたいと考えるようになりました。

(5)－1 【授業前】18歳になったら(18歳以上の人は最初の選挙で)投票に行きたいと思いますか？



(5)－2 【授業後】今日の授業を受けてみて、あなたは18歳になったら(18歳以上の人は最初の選挙で)投票に行きますか？



(5)－3 「今日の授業を受けてみて、あなたは18歳になったら(18歳以上の人は最初の選挙で)投票に行きますか？」において「③あまり行きたいと思わない」「④行きたいと思わない」「⑤今の時点では決められない」を選択した主な理由

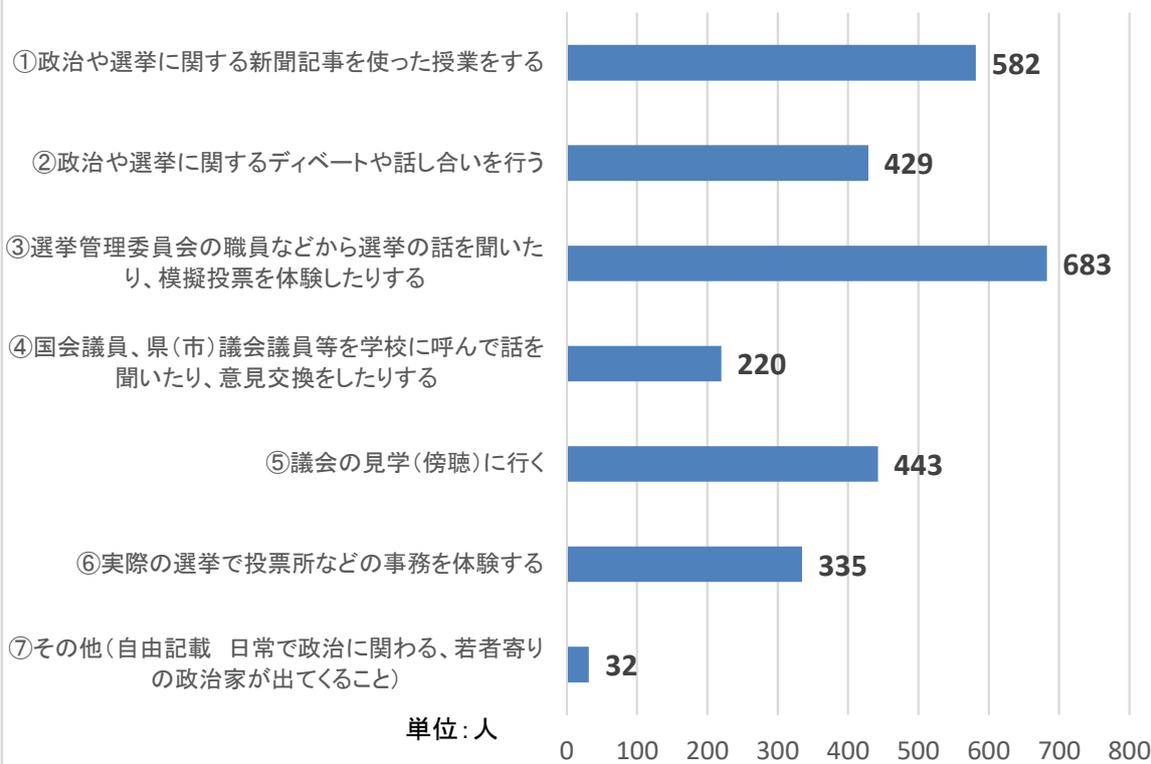
- ・選挙に興味・関心がないから
- ・投票所に行くのが面倒だから
- ・自分たちが投票しても政治が変わらない、若い人の投票に影響がないから
- ・投票することにメリットがないから
- ・だれに投票したらいいか、分からないから
- ・投票に行く時間がとれそうにないから
- ・誰が当選してもどうでもいいと思っているから
- ・選挙があることや、誰が立候補するかすら知らないまま生活しそうだから など

(6) 授業の内容等について

政治等に関心を持つためには、何をすればいいか聞いたところ、「選挙管理委員会の職員などから選挙の話を知ったり、模擬投票を体験したりする」との回答が最も多く、啓発授業による取組が効果的であることが分かりました。

新聞記事を使った授業や議会の見学、ディベートの実施などについても、回答が多いことから、今後の啓発授業の拡充に当たって参考としていきます。

(6-1)【授業後】高校生が政治や社会問題に関心を持つためには、何をすれば良いと思いますか？



(6) - 2 今日の授業内容のほかに取り上げてほしいこと(知りたいこと)はありますか？

・政治家や議員の仕事内容、お給料など
・海外の選挙、日本との比較など
(少数意見)税金の使い方、政党について、投票率を上げる方法、女性議員の少ない理由、落選した候補者について、女性議員の割合について、立候補の方法、インターネット投票はできないのか など

3 授業に関する意見・感想等（授業後アンケート 自由記載 ※抜粋）

（１）授業を受けての変化について

授業を受ける前は選挙や政治に興味が無く、選挙の意義や仕組みを理解していなかったが、授業を受けることで、それらを理解し、投票意欲が高まったといった記述が多く見られました。

・今まで選挙には興味が無かったけれど、今回の話を聞いて自分たち一人一人の投票が政治を大きく左右する可能性があることがわかり、多少ですが興味が出てきました。選挙投票になるべく参加できるようにしたいと思いました。

・自分は政治に余り興味が無く、家族が選挙の話をしている時も自分には関係ないと思って話を聞いてなかったけど、今回の授業で選挙に興味が出て、もっと色々知りたいと思ったし、実際に投票出来る歳になったら、ちゃんと投票しに行きたいと思いました。

・最初は自分が投票に行かなくても影響しないと思っていたが、自分の様な考えの若者が沢山いると社会が変わってしまうこと分かった。これから日本を作っていく若者たちが高齢者よりも投票に行かなければいけない立場ということを考えさせられました。

・選挙の手順はもっと複雑だと思っていたが、実際の流れを見て、抵抗が少なくなった。だれを選べばよいのかわかっていなかったが、自分にとって大切な視点を設定し、数字で表すとポイントが整理できて選びやすいと分かった。投票してから政治に関心を持つことが大切だと分かった。

（２）家族や友達との関わりについて

授業を受けることで、政治等への関心が高まり、家族や友達と一緒に投票に行きたいという意欲が高まったといった記述が多く見られました。

・最近ニュースを見ていて、気になったことや自分が感じたことなど家の人と話す機会が増えました。政治や社会問題に対して、関心することもあれば、不満に感じることもあります。今日の講演会を通して、自分の意見と一致している人を自分の目で確認し、自分の耳で声を聞いて、政治と社会問題に向き合っていきたいと思いました。

・今回の授業でより選挙に行きたい思うことができました。また、一人一人が投票することによってこれからの日本が変わっていくと思ったので友達も誘って投票をしに行きたいと思います。

・投票所に行ったことはないけど、親と行ってみようと思ったし、投票できるようになったら投票したいと思いました。投票も簡単でした。

(3) 模擬投票の有効性について

模擬投票を行うことで、投票自体はそれほど難しくないことを実感してもらうことができ、政治等への関心が高まり、投票意欲も高まったといった記述が多く見られました。

・模擬投票という貴重な体験ができて良かった。実際に選挙会場に行ったことがあったが、模擬投票を体験してみて少し緊張した。公約の見方や評価の仕方を知り、実際に投票ができる年齢になったら今日のように投票に取り組みたいと思った。政治に対する自分の意見を持つようにして自分も参加していけるようにしたい。

・模擬投票をすることによって実際選挙に行った時に、その体験を活かすことができ貴重だと思うし、選挙への関心もより深まるので続けてほしい。

・実際に模擬投票してみてそんなに難しいことではないと分かりました。また、投票後は当選した人が公約の実現に向けて活動しているかしっかりチェックすることも大事だということが分かりました。

(4) その他

候補者を選ぶことへの責任や投票率が思ったより低かったこと、選挙と税金の関係や、選挙権年齢が引き下げられた理由など授業の中で話したことをよく理解できたといった記述が見られました。

・自分で、国を動かす人を選べるという事は、責任重大だと思うと同時に、ありがたいことだと思いました。18歳となり選挙権が与えられた時には少しでも自分の理想の国へ近づくようにしっかり投票しようと思います。ご講演いただきありがとうございました。

・私の家族は毎回選挙に行っており、他の家庭もそうだと思っていたので、全体の投票率が50%くらいだと知ってびっくりしました。私が18歳になったら、選挙に行き、自分の意見を反映させられるようにしたいです。ありがとうございました。

・選挙と税金の関係を今まで知らなかったのが、良い機会になりました。18歳になったら投票しに行こうと思います。ありがとうございました。

・私はもうすぐ18歳になります。どうして選挙権年齢が引き下げられたのか分からなかったけど、その理由が分かったし、若い人だからこそ選挙に参加しなければいけないことも分かったのが、今回の講演はとてつもないいい講演でした。